

2025（令和7）年2月28日

報道関係者各位

独立行政法人国立科学博物館

クラスメソッド THEATER36〇
新規映像「日本の川 -固有種との出会いの旅-」の
一般公開及び報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館（館長：篠田 謙一）は、2025（令和7）年3月18日（火）から「クラスメソッド THEATER36〇（シアター・サン・ロク・マル）」の新規映像「日本の川 -固有種との出会いの旅-」を上映いたします。

また、一般公開に先立ち、下記のとおり3月17日（月）に報道内覧会を実施いたします。ぜひご参加いただき、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【日時】 2025（令和7）年3月17日（月）14:00～16:00（受付13:40～）

14:00～ 監修者による概要説明、見どころ解説

14:10～ 新規映像試写（上映時間約6分）

14:20～ 質疑応答（10分程度）

※質疑応答終了後、16:00まで新規映像を繰り返し上映します。この時間帯でのご参加も可能です。

※参加者の人数により、上映開始時間が変更になる場合があります。

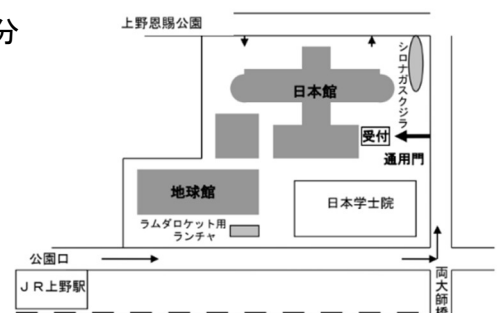
※新規映像をご自由に撮影いただけます（フラッシュ撮影はご遠慮ください）。

【会場】 国立科学博物館（東京・上野公園）
日本館地下1階「クラスメソッド THEATER36〇」

【受付場所】 日本館1階守衛室前 ※下記地図のとおり通用門からお入りください。

【アクセス】 JR上野駅公園口から徒歩5分
東京メトロ銀座線・日比谷線上野駅から徒歩10分
京成電鉄上野駅から徒歩10分
※駐車場の用意はございません。

【お問合せ】 国立科学博物館
展示部 常設展示・巡回展示課（常設展示担当）
〒110-8718 東京都台東区上野公園7-20
電話：03-5814-9879 FAX：03-5814-9898
E-mail：jyo-ten@kahaku.go.jp



【お申し込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は **3月13日(木)17:00 まで**に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館常設展示担当 jyo-ten@kahaku.go.jp宛メールにてお申込みください。

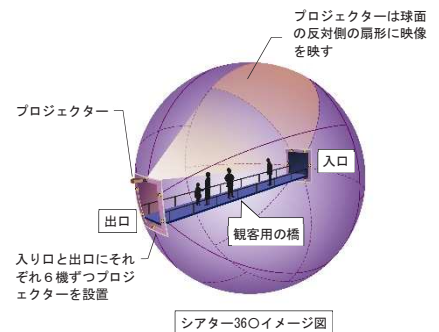
- ・ 件名：クラスメソッド THEATER360 報道内覧会申込
- ・ ご所属、お名前、緊急連絡先（携帯電話番号）、メールアドレス

※代表者がまとめて申込みをされる場合も、**すべての参加希望者について、ご記入願います。**

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします（概ね3日以内にお返事します）。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。
※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

【「クラスメソッド THEATER360」とは】

直径12.8m（地球の100万分の1）のドームの内側すべてがスクリーンになっており、中のブリッジで鑑賞します。360°全方位に映像が映し出され、独特の浮遊感などが味わえるシアターです。



【新規映像「日本の川 —固有種との出会いの旅—」の概要】

ユーラシア大陸の東の端に浮かぶ日本列島は、そこにしか生息していない動植物、すなわち「固有種」が多い地域として知られています。

地域ごとに異なる表情を見せるのが、川。山をくだる急流から平野のゆるやかな流れまで、日本の川には、それぞれの環境に適応した多くの固有種がくらしています。

日本各地の特徴的な川を旅しながら、そこに生息する植物や両生類に会いに行きましょう。

※本映像は、令和6年度日本博2.0事業（委託型）の一環として制作されました。

【映像の見どころ】

- ① 生物のすみかとなる川の周辺の地形や岩石に注目してみましょう。勾配が大きなところでは、川は大きな岩の間を急流となって流れてゆきます。時には、滝となる場合もあるでしょう。逆に、勾配が小さなところでは、流れは緩やかになり、川のまわりには小石や泥が見られます。



北海道 釧路湿原



鳥取県 石見川

- ② ひとたび大雨が降ると、川は濁流となって水辺の生き物を襲います。そのような溪流沿いの環境では、激しい流れに適応したサツキやヤシャゼンマイなどの日本固有種が生まれました。水面近くに生えているヤシャゼンマイは、細長い葉を持ち、水に流されにくい性質を持っています。



ヤシャゼンマイ



サツキ

- ③ 一生を川で過ごすオオサンショウウオや、産卵のために大勢が川に集まるカエルたち。日本列島の両生類の多様性を生み出し、支えてきたのは水が絶えることのない河川環境です。日本各地のカエルやサンショウウオがどのように川を利用しているのか、地域や種の違いに着目して観察してください。



オオサンショウウオ



ナガレタゴガエル

【監修者】



動物研究部 脊椎動物研究グループ 研究員
吉川 夏彦 (よしかわ なつひこ)

サンショウウオ類やカエル類を中心としたアジア産両生類の系統関係や分類、生物地理を研究しています。特に北東アジアの小型サンショウウオの分類と種分化、生態調査、希少種保全などの研究を進めています。



植物研究部 陸上植物研究グループ 研究主幹
海老原 淳 (えびはら あつし)

専門は植物分類学。とくにシダ植物の分類学的研究を行っているほか、「生物多様性ホットスポット」に関する総合研究では日本固有種のデータ分析を担当しました。本映像にもその研究成果が活かされています。



地学研究部 環境変動史研究グループ 研究主幹
齋藤 めぐみ (さいとう めぐみ)

専門は微古生物学。とくに、湖沼珪藻の進化プロセスを明らかにするために、珪藻化石を採集して研究しています。珪藻の殻の形態がなぜ変化するのか、生物と環境変動との関わりにも興味をもっています。本映像プロジェクトでは、映像の監修のほか、日本の多様な川の景観や川が作る地形を選ぶために撮影に同行しました。

広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。
当館ホームページの「各種手続き・報道関係資料」→「写真の貸出」からお申込みできます。
https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/sample_photo.php?group=0001559614755785



「日本の川」上映イメージ（画像：国立科学博物館）

【広報用写真ご利用及び記事掲載時のお願い】

- *写真使用は本映像の紹介目的のみとさせていただきます。
- *写真掲載時には、資料クレジットを必ずご記載ください。
- *記事のなかで、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は、確認のため、下記担当まで校正原稿をお送りください。
- *ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りさせていただきますようお願い申し上げます。



北海道 釧路湿原（画像：国立科学博物館）



東京都 秋川（画像：国立科学博物館）



鳥取県 石見川（画像：国立科学博物館）



オオサンショウウオ（画像：国立科学博物館）



卵を守るオオサンショウウオ（画像：国立科学博物館）



オキナワシカワガエル、ホルストガエル（画像：国立科学博物館）

【お問い合わせ先】

国立科学博物館 展示部 常設展示・巡回展示課（常設展示担当）

電話：03-5814-9879 FAX：03-5814-9898

E-mail：jyo-ten@kahaku.go.jp 〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20